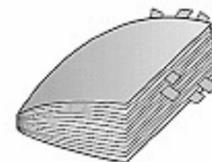


ポートフォリオの意味



- 意味：紙ばさみ・作品集・活動や実績ファイル
- ポートフォリオとはバラバラの「情報を一元化」

ポートフォリオの価値（成長評価）

- 「情報を一元化」すると価値が生まれる！
- **俯瞰** = プロセス、成果、成長、知の体系化
- **可視化**=思考特性、能力、実力(コンピテンシー)

評価とは、価値を見出すこと

大切なことはそのとき見えない

■ ポートフォリオとは

ポートフォリオとは、これまでの作品「活動歴」「実績歴」などをファイルしたもの。紙ばさみや建築家などがもっている作品集ファイルを意味する。バラバラの情報を一元化したもの。自分が作ったもの自分を作ったものが見える。これまでの作品・成果・経験を一元化したもの。学習や仕事のプロセス全体が俯瞰して見えるファイル。

■ ポートフォリオの価値

- 1 数値化できない個性、能力、才能などが見える
- 2 ゴールへ向かう思考プロセスが見えるので対話コーチングを果たせる
- 3 事実を元にリフレーミング（違う視点から見ること）・リフレクション（一旦離れて振り返ること）ができる

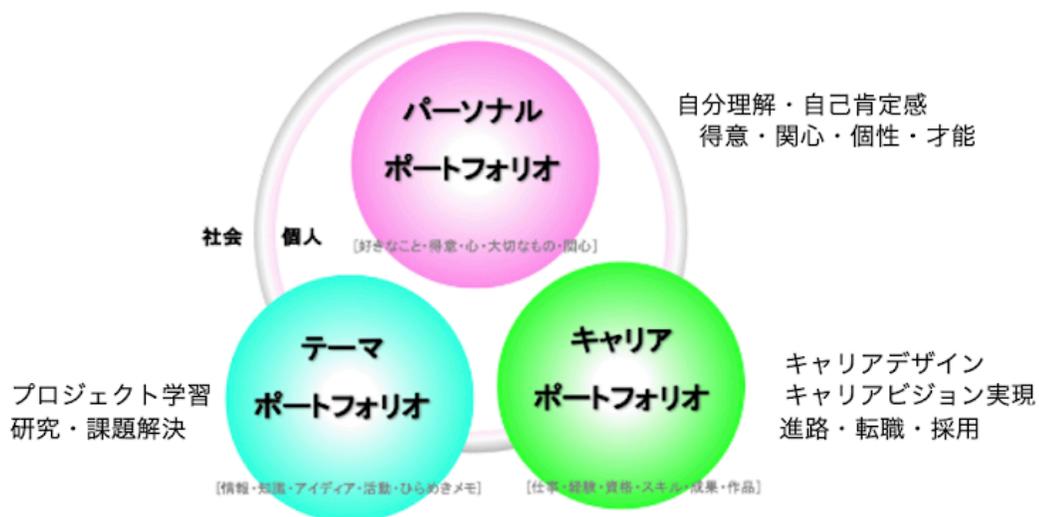
■ 成長するポートフォリオの条件

- ・「ビジョン・ゴール」を最初に入れる。
- ・根拠あるものを入れる（出典・年月・場所など）
- ・時系列に入れる
- ・メモ・スケッチ・下書きなども入れる



■ ポートフォリオの種類と特徴

パーソナルポートフォリオには、自分の好きなことや得意など自分の心に素直に入れます。それを見ればその人のことを理解することができます。キャリアポートフォリオは自分の能力や経験、センス、個性などがわかるものを入れます。就職面接などに活きます。プロジェクトチームの役割分担などにも活きます。テーマポートフォリオは、一つのテーマ（目的・目標）に関するものを一元化します。プロジェクト学習、課題解決、探求などに活きます。|



ポートフォリオでストレンクス（よさ）を見出す

よさ・好きなもの・才能・関心・熱望

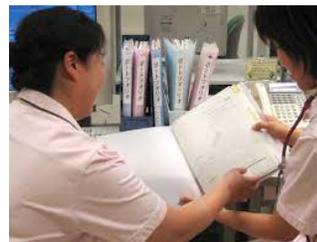
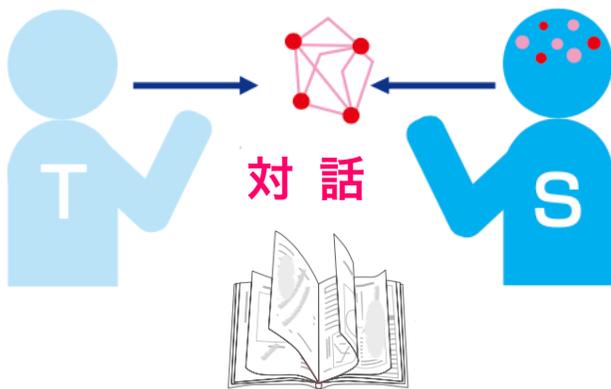
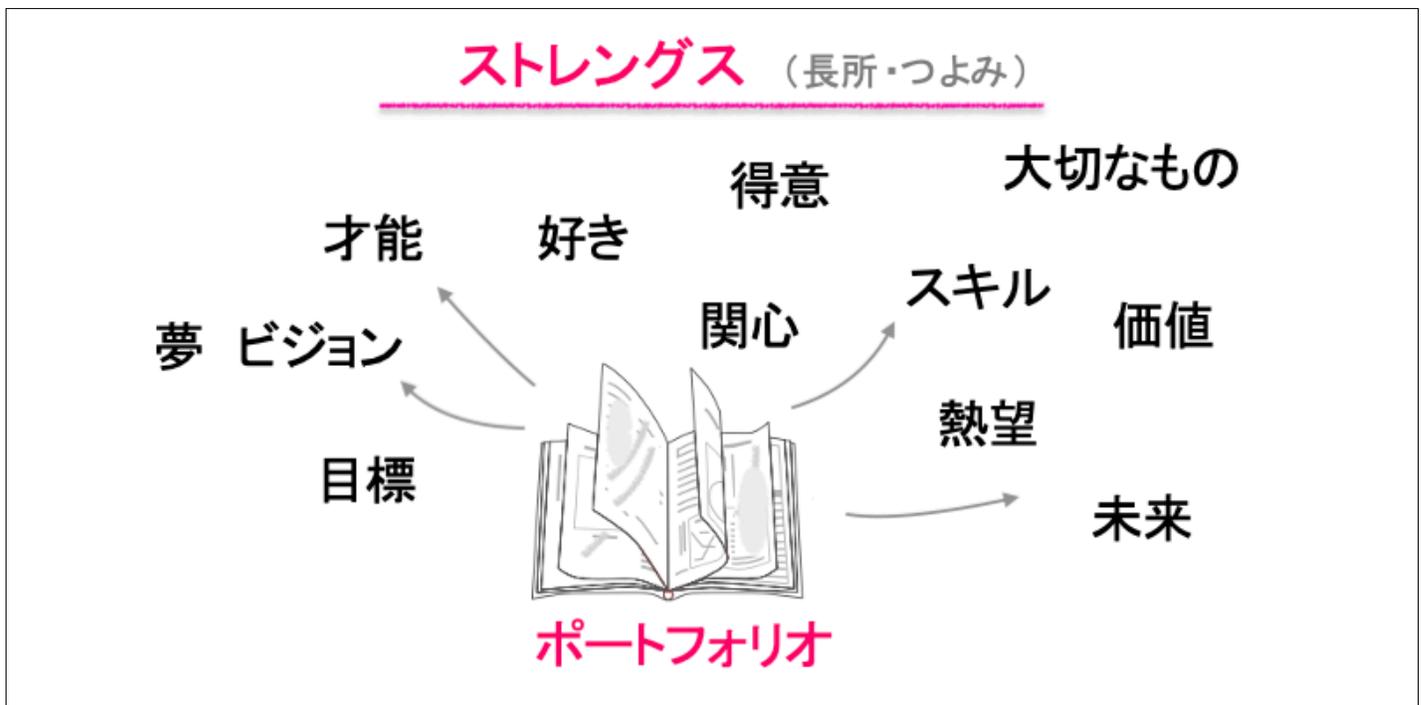
ストレンクス

(長所・つよみ)

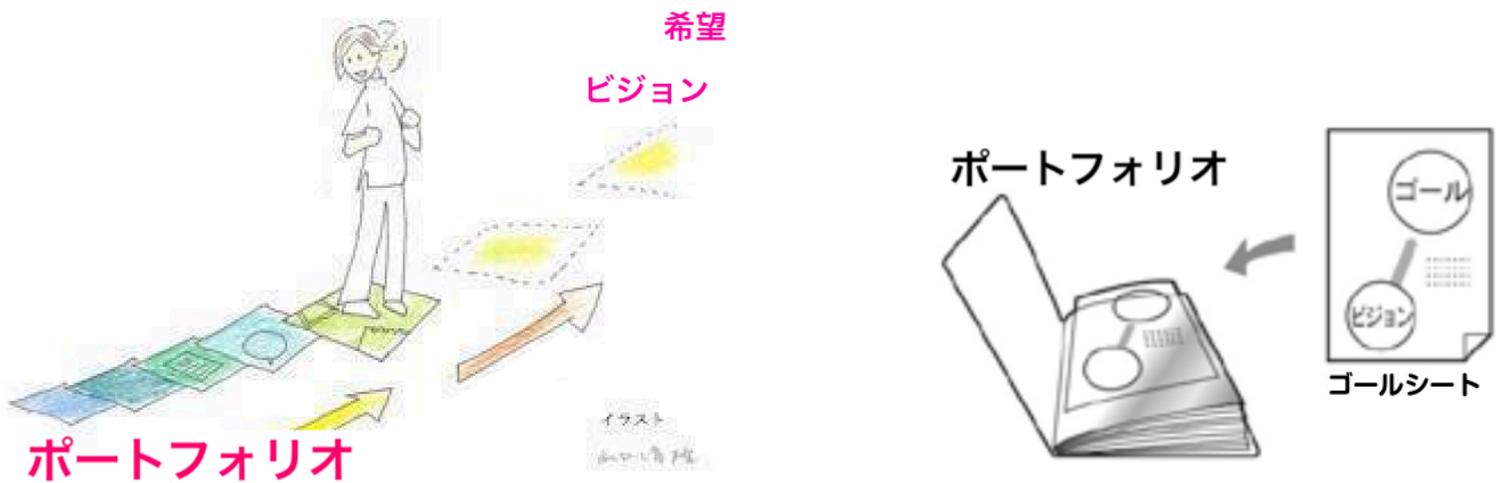
- 1 個人の性質・性格
- 2 才能・技能
- 3 環境・資源
- 4 関心・熱望



ポートフォリオ



ポートフォリオに未来（ビジョン）を描いて入れる

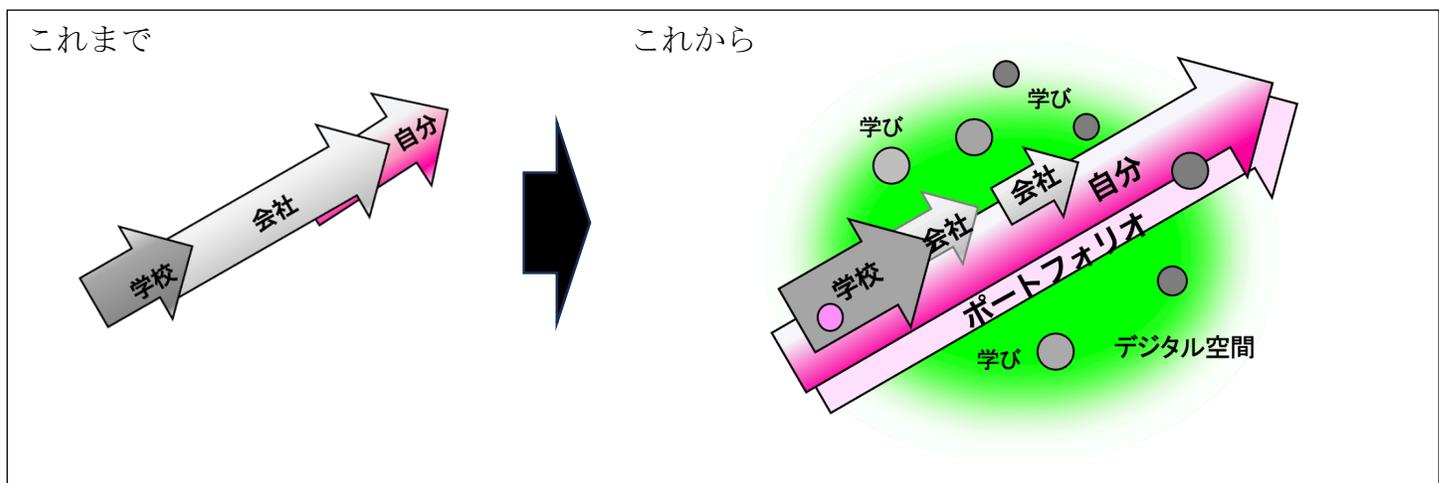


ポートフォリオで自ら学びをデザインする

これまで＝学習や活動の軌跡は・学校や所属先が管理する。

これから＝学習や活動は自らデザインする。

学習や活動の軌跡は自らポートフォリオに綴じ、未来へ活かす



まず！パーソナルポートフォリオをつくろう！

ポートフォリオ (Portfolio) は、建築家やデザイナーなどの作品集を意味します。

これまでやってきたことや自分のセンスや個性がわかるものファイルにして未来のために活かします。

【作り方】

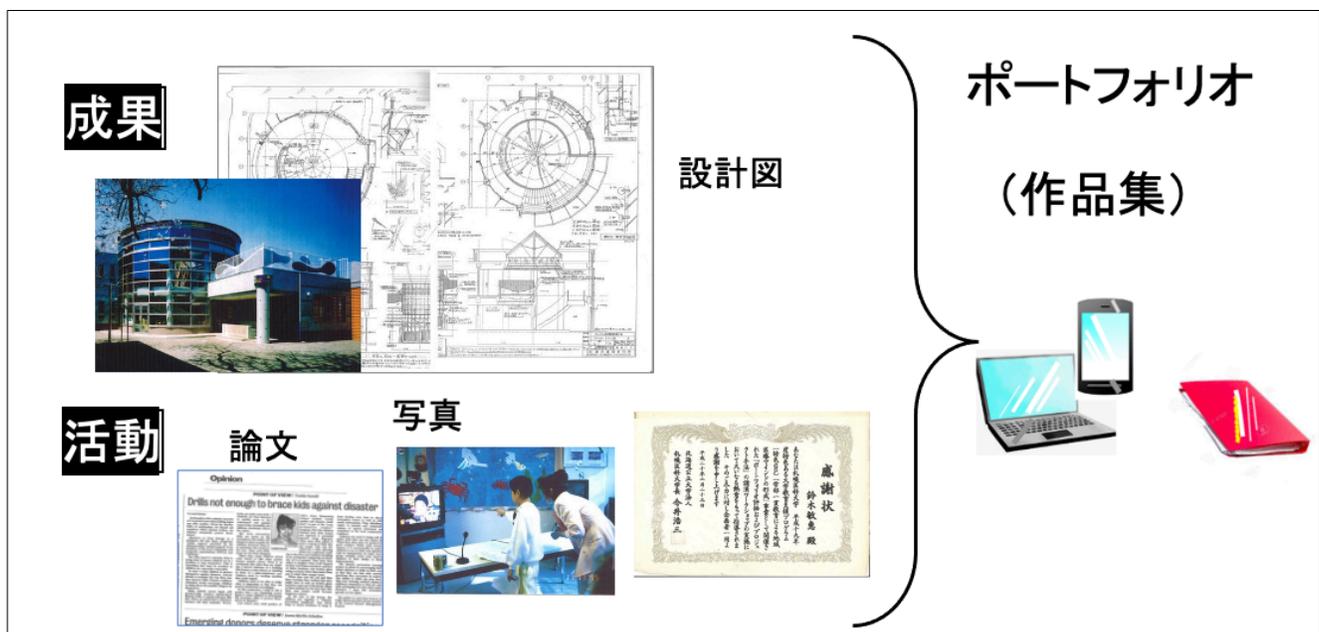
- ・ファイルを用意する→リアルでもデジタルでも Web でも ok
- ・素材を集める→写真、映像、気に入った文章など気になったらとにかく入れてみる。
- ・コツ→「自分をほめながら集める」。「よく頑張った!」「このときは楽しかった!」とやってきたことを楽しく。

【こんなものを入れてみよう!】

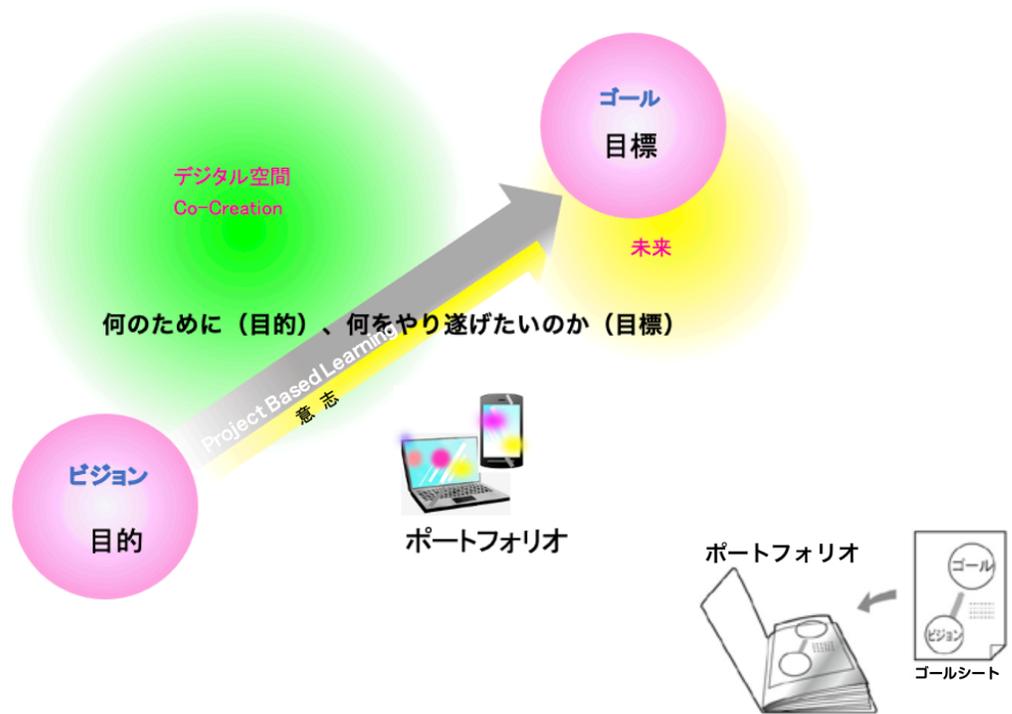
- ①自分の「願い」「得意なこと」「好きなもの」「関心があるもの」に関するもの。もらった嬉しいメッセージ etc.
 - ②自分の「願い」「目標」「目指していること」を描いて最初にいれる
 - ③自分のこれまでやってきたこと (研究、読書歴、ボランティア歴 etc.)
 - ④今の自分をつくったもの (読書歴、習い事の記録、講習会、学会など、関する領収書など etc.)
 - ⑤自分がつくったもの (作品、料理、レシピ、写真、絵、イラスト etc.)
 - ⑥自分がこれまで手にいれてきたもの (表彰状、寄せ書き色紙、学んだこと、嬉しかった手紙、ぼろぼろになったノートなど)
- *その時のエピソード、キャプション、年月日、など、“写真”は必須です。

作るときに気をつけること

- ①入れるものには必ず「日付」「場所」を添える
- ②前から順番に「時系列」で入れていく
(「自分年表」のイメージ!)
- ③写真や資料には「その時の気持ち」や「そこにいたる過程、物語」を添えておく



ゴールシートを描こう！



.....

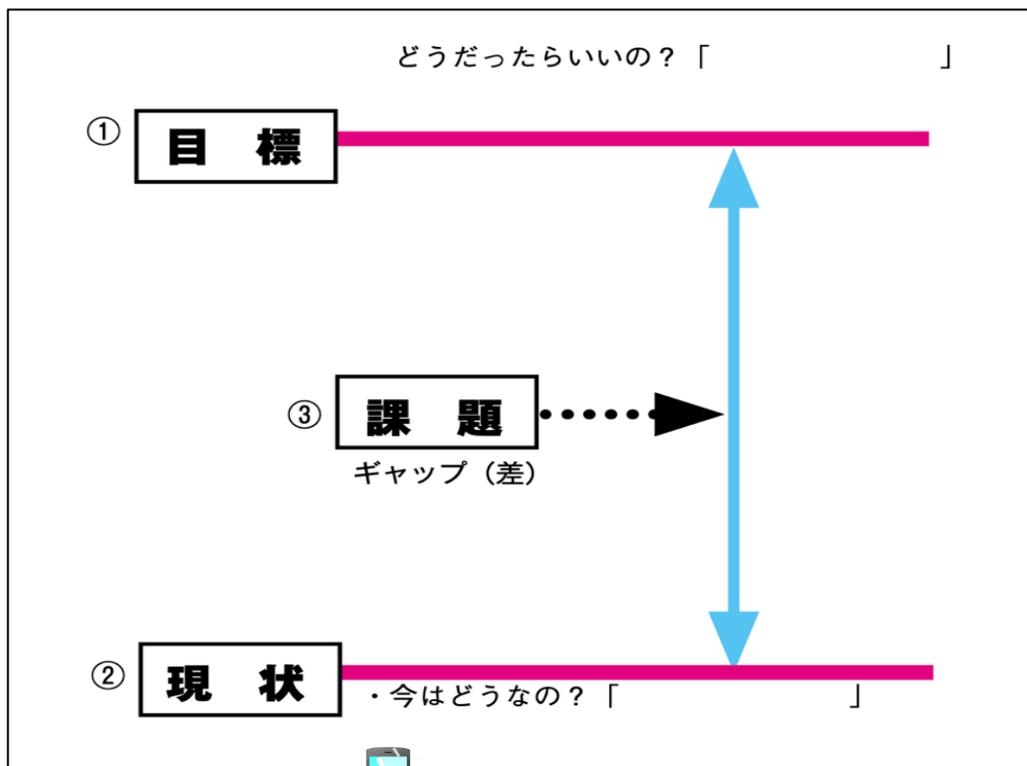
The diagram shows a 'ゴールシート' (Goal Sheet) form. It has two main circular sections: a top circle labeled 'ゴール (具体的な目標)' (Goal (Specific Goal)) and a bottom circle labeled 'ビジョン・願い (目的)' (Vision/Wish (Purpose)). A grey arrow points from the bottom circle to the top circle. To the right of the top circle, there are fields for '年 月' (Year/Month), '理由' (Reason) with three dotted lines, and '記入日 年 月 日' (Entry Date Year/Month/Day). Below these fields is the '氏名' (Name) field. At the bottom right, there is a copyright notice: '© シンクタンク未来教育ビジョン 鈴木敏恵'. To the left of the form, the text '願い・目的 (ビジョン) 「～のために」' (Vision/Purpose (Vision) 'For ~') has an arrow pointing to the bottom circle. To the right, the text '具体的な目標 (ゴール) 「～～～る！」' (Specific Goal (Goal) '~~~~る!') has an arrow pointing to the top circle.

[思考力 判断力 表現力]の対話コーチング

- 思考 現状・状況……「今はどうなの？」
ありたい状態……「どうだったらいいの？」
- 判断 決め手 …… 「いちばん大事なことは何？」
押さえ …… 「何と何を比べたの？」
- 表現 目的 …… 「何(誰)のためにするの？」
効果 …… 「それで何を变えたいの？」

鈴木 敏恵

Copyright © 2022 シンクタンク未来教育ビジョン 鈴木敏恵 All Rights Reserved



ポートフォリオ

文部科学省
キャリアパスポートの正式例と書き方の留意点

「キャリアパスポート」の必要性と背景
平成28年12月に中央教育審議会（学修部、小・中学校、高等学校）が「キャリアパスポート」の正式例と書き方の留意点を示した。その中で特別活動ワーキンググループにおいては、特別活動にいたる前段階として、キャリア教育の積極的な推進を図る上で、特別活動が大きな役割を担うこと、同時に、特別活動においても、小・中・高等学校がそれぞれの役割を担って取り組むことが求められた。キャリア教育推進や特別活動推進といった目的として捉えられているが、本来、これらが必要となる学習者自身を育てていくことが、学校の重要な役割である。このように特別活動がキャリア教育においてこのような役割を担う必要がある。そのため、小・中学校から高等学校までの特別活動は互いに連携し、学びのプロセスを記録し振り返ることができる「ポートフォリオ」を推進し、活用することが望ましいと考えられている。このように特別活動を中心とした各教科等と連携しながら活用し、それを社会や将来につなぐ、必要に応じて振り返ることにより、主体的に自己のキャリア形成に資することが可能になるとともに、特別活動や授業にもつながる。また、小・中・高等学校やその間の連携を促進できるようなものとなるよう工夫し、各地域の実情に小・中学校や学校における職業工夫を生かした形で活用が可能なものとなるよう工夫された。平成28年3月に小・中学校及び高等学校学習指導要領（小・中学校学習指導要領、平成28年3月に高等学校学習指導要領）と連携してキャリアパスポートが示された。また、それと並行して「キャリアパスポート」導入に向けた調査研究ワーキンググループを設け、その内容について検討された。

2 名称
1) 示した「キャリアパスポート」並びに小・中・高等学校及び特別支援学校における学習指導要領特別活動第2（学級活動・ホームルーム活動）の3内容の取扱い（2）にある「（備考）児童（生徒）が活動を記録し振り返る教材等（様式）」を「キャリアパスポート」とし、ただし、那須野原や設置後、各校において独自の名称等とは可能とする。なお、特別支援学校における特別活動については、小・中学校及び高等学校に準ずることとしていることに留意する必要がある。

「キャリアパスポート」とは、児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関する諸活動について、特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心として、各教科等と連携し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の実習や成長を自己評価できるように工夫されたポートフォリオのことである。

なお、その記述や自己評価の指導にあたっては、教師が対話的に関わり、児童生徒一人一人の目標修正などの改善を支援し、個性を伸ばす指導へとつながりながら、学校、家庭及び地域における学びを自己のキャリア形成に生かそうとする態度を養うよう努めなければならない。

なお、「キャリアパスポート」は、学習指導要領特別活動第2（学級活動・ホームルーム活動）3内容の取扱い「（2）の3）の指導に当たっては、学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考える活動を行うこと。その際、児童（生徒）が活動を記録し振り返る教材等を活用すること。」の意義を3点明記しているの必ず確認すること。

「思考・判断・表現」の評価
3. 各教科等の学習評価

「思考・判断・表現」の評価の方法

「思考・判断・表現」の評価の考え方は、従前の評価の観点である「思考・判断・表現」においても重視してきたところです。具体的な評価方法としては、ペーパーテストのみならず、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動を取り入れたり、それらを集めたポートフォリオを活用したりするなど評価方法を工夫することが考えられます。

光村図書出版
平成23年文部科学省検定
国語 3
中学校「国語」(3年)の教科書

三年間の歩みを編集しよう
ポートフォリオを編み、語りかけよう

学習記録や作品等の振り返りシート

学習の見通しをもつよう

ポートフォリオを完成させよう

発表会をしよう

看護職の生涯学習ガイドライン
公益社団法人 日本看護協会

自分自身の状況に適した方法を選択することだけが学習活動ということではありません。関連させて行うことで、看護実践を通じた加え、学術集会への参加や研究活動、学位や含まれます。方法の選択に迷った場合には、学んだことを次の看護実践に活かして人々の組織の管理者と対話し、自分を取り組む生涯等をすり合わせていくことが重要です。自分かという点と併せて、自分の将来の姿の実現の将来の姿を関連させ、より効果的に生涯学習およびキャリア形成を図ることができます。

⑤自身の成長の記録と振り返り
自分が過去に行った学習活動や様々な経験や得た学び等をまとめる「ポートフォリオ」を作成し、自分自身の積み重ねを振り返ったうえで、生涯学習の計画や将来の姿（ビジョン）を描くことが重要です。自分一人で考えることが難しい場合には、ポートフォリオを用いて、所属する組織の管理者やキャリア形成支援を行う機関の者へ相談することも効果的です。
ポートフォリオは、時期を決めて記載するだけでなく、新たな学びを得た時や、キャリアに関連する何かあったタイミング等で折に触れて記載し見返す等、日常的に使っていることが大切です。使い続けてキャリア形成を目に見える形にすることで、自分の振り返りや他者に自分のことを伝える際に有効活用できるものになります。

③初めて看護職として就業する新卒看護職への支援
看護職の免許取得後初めて就業する新卒の看護職に対しては、社会人および組織人としての、自組織への適応の支援が重要です。更に、日々の看護実践に当たり、どのような生涯学習が必要かについて共に考える機会を設け、一人ひとりの主体的な取り組みを支援します。実践から学びを得ることや、研修等で得た知識を省察し次の実践に活かすことの支援も重要です。

④自組織に転入してくる既卒の看護職への支援
他の組織で就業した後、自組織に転入して来る既卒の看護職には、個人が生涯学習・キャリア形成してきたことを活かしつつ自組織で活躍できるよう、丁寧な支援が求められます。既卒の看護職個人について、まず対話やポートフォリオに基づく理解を進め、看護職に求められる能力を、どの程度開発・維持できているかアセスメントします。この看護職に求められる能力の状況を踏まえ、自組織で看護実践を行うために、更にどのような能力開発が必要か確認します。そのうえで、「6-1①自組織で求める人材像と必要な能力や知識の明示」に基づき、自組織に必要な知識・技術を伝え、個人がそれらを学び獲得できるよう支援することが重要です。